

LINE公式アカウント 経理処理チェックシート

支払い方法の登録、インボイスの確かめ方、勘定科目の決め方から、毎月の締めで経理担当に渡すものまでの7枚

この7枚でできること

- ☐ カードか請求書払いかを決め、登録まで済ませる
- ☐ 「二重に引き落とされた」と勘違いしないよう、支払い日を把握する
- ☐ 領収書の代わりに残す書類と、インボイスの画面をそろえる
- ☐ 毎月15日に、経理担当へ4つをまとめて渡す

使う順番

2ページで支払い方法を決める → 4ページでインボイス情報に会社名を登録する → 5ページで科目を決めて社内に残す → 6ページの戻れないことを読む → 7ページの記録表で毎月締める。

運用担当の方と経理担当の方の両方で使う資料です。経理担当の方には4ページと5ページと7ページだけ渡しても通じるように作りました。

目次

2	支払い方法を決めて登録する カードか請求書払い、自社の状況の記入、登録の4手順、Paidの始め方
3	お金が出ていく日と、プランを変えた月 月初の前払いと10日ごろの後払い、半年ぶんの支払い予定表、変更の適用時期
4	領収書の代わりに、インボイスの確かめ方 残す2つの書類、登録番号、会社名の登録、1月26日の前と後
5	勘定科目と計上の決まりを決める 科目の例、自社の決定表、追加メッセージの計上月、消費税
6	後から取り戻せないことと、払えなかったとき 戻れないこと10個、支払い失敗の確かめ順、よくあるつまずき
7	毎月の締めと、経理担当に渡すもの 渡す4つ、締めの記録表、そのまま使える説明文

数字と決まりの出どころ

この資料の料金、日付、画面の項目名は、LINE公式アカウントのヘルプセンター、利用と請求のマニュアル、料金プランのページ、LINEヤフーのインボイス制度のページ、Paidのよくある質問に2026年9月26日時点で書かれていたものだけです。料金はすべて税別です。勘定科目と計上の時期は会社ごとに決めてよいもので、最後は顧問税理士か会計ソフトの案内で決めてください。

支払い方法を決めて登録する

支払い方法は2つだけ

1. 公式が案内している支払い方法

支払い方法	使えるアカウント	補足
クレジットカード	未認証・認証済のどちらも	Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club
請求書払い	認証済アカウントだけ	株式会社ラクーンホールディングスの「Paid（ペイド）」を使う。申し込みは無料と案内されている

LINE Payは、いまの支払い方法の一覧に入っていません。iPhoneの管理アプリから買うと、Appleの支払いになります。会社の経費にするなら、Web版の管理画面で買うほうが話が単純です。

2. 自社の状況を書く

アカウントの種類	☐ 未認証（カードだけ） ☐ 認証済（カードも請求書払いも）
会社の決まり	☐ カード払いでよい ☐ 請求書で払いたい → 先に認証済を申請
開設・管理しているのは	☐ 自社 ☐ 認定セールスパートナー（代理店） → 請求は代理店との契約で決まる
支払い方法を登録する管理者	
メインの支払い方法	☐ カード（末尾 ） ☐ Paid
サブの支払い方法	☐ カード（末尾 ） ☐ まだ入れていない

支払い方法は最大5件まで登録でき、自動の支払いで使う順番を決められます。メインで払えなかったときはサブが使われるので、カードの期限切れで止まるのを防ぐなら2件目を入れておくのが安全です。

3. 登録の4手順（管理者だけ）

- Web版の管理画面で、アカウントを選ぶ
- 「設定」から「利用と請求」の「お支払い方法」を開く
- 「追加」を押し、支払い方法を選んで「確認」を押し
- カード番号などを入れる

スマホで操作するときは、管理アプリではなくブラウザで「スマートフォンブラウザ向け購入画面」
(manager.line.biz/webstore/) を開きます。

4. 請求書払いの始め方

- ☐ 認証済アカウントになっている
- ☐ 「お支払い方法」の「追加」でPaidを選んだ
- ☐ 締め日、支払日、使える金額の枠をPaidの案内で確かめた
- ☐ Paidは削除しない。カードに替えるときはメインの入れ替えで済ませる

お金が出ていく日と、プランを変えた月

同じ月に2回出るのは正常

1. 支払いのタイミングは2つ

料金	支払いのタイミング
月額固定費（ライト・スタンダード）	毎月、月初に前払い
追加メッセージ料金（スタンダードだけ）	月末で締めて、翌月10日ごろに後払い

スタンダードで追加メッセージを使った月は、翌月に支払いが2本出ます。月初に今月の月額料金、10日ごろに先月の追加分です。ライトプランは月5,000円、スタンダードプランは月15,000円で、どちらも税別です。実際の支払いには消費税が加わります。10月の料金改定は、講座の「料金プラン」の回で計算しています。

2. 支払い予定表（半年ぶん）

月	月初の月額料金（前払い）	10日ごろの追加メッセージ（先月分）	メモ（広告・オプション）
月	日・円	☐ あり 日・円	
月	日・円	☐ あり 日・円	
月	日・円	☐ あり 日・円	
月	日・円	☐ あり 日・円	
月	日・円	☐ あり 日・円	
月	日・円	☐ あり 日・円	

3. プランを変えたときの適用時期

変更	いつから
コミュニケーション → ライトかスタンダード	すぐ
ライト → スタンダード	すぐ
有料プラン → コミュニケーション	翌月から
スタンダード → ライト	翌月から

上げるときはすぐ、下げるときは翌月から。月の途中で変えても日割りにはなりません。上げた月は、月初の支払いとは別に、上げた日に支払いが出ることがあります。どう出たかはお支払い履歴で確かめます。

チャットProオプションも、月の途中で買っても日割りにならず、解約するとその月の末で終わります。

4. プランを変えた月の記録

変えた日	月 日	変更	→
適用	☐ すぐ ☐ 翌月から	別の支払い	☐ 出た（ 日） ☐ 出ていない

領収書の代わりと、インボイスの確かめ方

領収書もインボイスの紙も出ない

1. 領収書の代わりに残す2つ

支払い方法	払ったことの証拠	何にいくら払ったかの記録
クレジットカード	カード会社の利用明細	管理画面の「お支払い履歴」
請求書払い (Paid)	振込の控えかネットバンキングの完了画面	管理画面の「お支払い履歴」

カードの明細だけでは、どのプランの何月分かは分かりません。Paidのマイページには、LINE公式アカウント分の適格請求書は保存されません。どの書類で足りるかの最終判断は、会社の経理の決まりと顧問税理士に確かめます。

LINEヤフーの登録番号 T4010401039979 LINEヤフーの会社サイトのインボイス制度のページに掲載。国税庁の公表サイトでも検索できます。

2. 手順1 会社名を登録する

- Web版の管理画面で、アカウントを選ぶ
- 「設定」から「利用と請求」の「インボイス情報」を開く
- 「編集」を押す
- 会社名か事業者名を入れて「保存」

登録はアカウントごとです。しないと画面に宛名が入りません。

3. 手順2 お取引の詳細を開く

- 「設定」から「利用と請求」の「お支払い履歴」を開く
- 見たい支払いの「お取引の詳細」から「View」を押す
- ブラウザの印刷からPDFに保存する

管理アプリでは見られません。PDFの保存の形は、電子帳簿保存法の扱いに合わせて顧問税理士が会計ソフトの案内で決めます。

4. 2026年1月26日の前と後で、見る場所が違う

支払った日	インボイスの記載要件を満たす画面
2026年1月26日より前	お支払い履歴の「お支払いの詳細」
2026年1月26日以降	お支払い履歴の「お取引の詳細」（「お支払いの詳細」は記載要件を満たさない）

5. アカウントごとの登録記録

アカウント名	インボイス情報	登録した会社名・事業者名	登録した日
	☐ 済		月 日
	☐ 済		月 日
	☐ 済		月 日
	☐ 済		月 日
	☐ 済		月 日

勘定科目と計上の決まりを決める

一度決めた科目を続ける

1. よく見かける科目の例

支払いの中身	よく見かける科目の例	そう考える理由
月額料金・追加メッセージ料金	通信費か広告宣伝費	連絡の道具と見るか、宣伝の道具と見るか
友だち追加広告	広告宣伝費	友だちを増やすための広告だから
チャットProオプション・プレミアムID	月額料金と同じ科目にそろえる例	同じアカウントの追加の料金だから
アイコンなどの制作を外に頼んだ費用	広告宣伝費か外注費など	何を頼んだかで分かれる

法律で1つに決まっているわけではありません。予約の連絡や問い合わせの返事が中心なら通信費、セールやクーポンの配信が中心なら広告宣伝費、と使い方で考える会社が多いようです。

2. 自社の使い方

配信の中心は	☐ 予約の連絡・問い合わせの返事 ☐ セール・クーポンの配信
--------	--

3. 自社で決めた科目

支払いの中身	決めた科目	確かめた先
月額料金		☐ 税理士 ☐ 会計ソフト
追加メッセージ料金		☐ 税理士 ☐ 会計ソフト
友だち追加広告		☐ 税理士 ☐ 会計ソフト
チャットProオプション・プレミアムID		☐ 税理士 ☐ 会計ソフト
制作を外に頼んだ費用		☐ 税理士 ☐ 会計ソフト

友だち追加広告の支払いも同じお支払い履歴に出ます。月額料金と混ぜずに分けておくと、広告にいくら使ったかが後から見えます。

4. 計上の決まり

追加メッセージ料金	☐ 送った月の費用 ☐ 払った月（翌月10日ごろ）の費用
決めた日・確かめた相手	
社内に残した場所	

消費税

LINEヤフーは適格請求書発行事業者の国内の会社です。料金は税別で、支払いには消費税がかかります。仕入税額控除の扱いは顧問税理士に確かめます。

海外の会社・海外居住者

決済の時点では免税になりません。問い合わせフォームから連絡すると、取引を確かめたうえで消費税額が返金されます。

メンバーシップは友だちからお金を受け取る売上の機能です。支払いと混ぜず、計上の仕方を顧問税理士に確かめてください。

後から取り戻せないことと、払えなかったとき

#	取り戻せないこと・やりがちなこと	区分	防ぎ方
1	一度削除したPaidは、そのまま使い直せない	再利用不可	削除せず、メインの入れ替えで済ませる
2	1月26日以降の分を「お支払いの詳細」で保存する	要件外	「お取引の詳細」をPDFで保存する
3	月の途中でプランを上げてても、日割りにはならない	日割りなし	日割りにならない前提で、上げる日を決める
4	チャットProも、月の途中で買って日割りにならない	日割りなし	買う日を決めてから申し込む
5	iPhoneの管理アプリで買うと、Appleの支払いになる	支払い先	会社の経費はWeb版の管理画面で買う
6	インボイス情報を1つのアカウントにだけ登録する	宛名なし	店舗ごとのアカウント全部に登録する
7	月ごとに科目を通信費と広告宣伝費で行き来させる	比べられない	決めた科目を社内のメモに1行残す
8	明細のためだけに、経理担当へ管理者の権限を渡す	注意	配信も触れる権限。管理者がPDFを渡す
9	代理店管理のアカウントで、支払い方法を自分で変える	注意	代理店との契約で決まる
10	古い記事を見てLINE Payで払おうとする	注意	カードか請求書払いで登録し直す

赤は、やってしまうと後から戻せないか、その月の支払いや記録が変わるもの。紺は、気づけば直せるものです。

支払いに失敗したときに確かめる順番

#	確かめること	確認
1	カードの利用限度額と有効期限。Paidなら、使える金額の枠	☐
2	支払い方法を直す（メインの入れ替え、サブの追加）	☐
3	追加メッセージと友だち追加広告は、お支払い履歴の「再度支払う」から払い直す	☐
4	有料プランとプレミアムIDは、買い直しの手続きをする	☐

よくあるつまづき

起きたこと	理由と直し方
請求書払いが選べない	認証済アカウントでないと選べない。先に認証の申請をする
お支払い履歴が見当たらない	管理者の権限がないか、管理アプリで探している。Web版で管理者が開く
インボイスの画面に会社名がない	インボイス情報が未登録か、別のアカウントにだけ登録している
見積書がほしい	LINEヤフーは見積書を出していない。考え方は講座の「料金プラン」の回

毎月の締めと、経理担当に渡すもの

毎月15日にまとめて渡す

1. 毎月渡す4つ

#	渡すもの	いつ出るか
1	今月の月額料金の「お取引の詳細」のPDF	月初
2	先月の追加メッセージ料金の「お取引の詳細」のPDF	10日ごろ（追加した月だけ）
3	友だち追加広告やオプションを使った月は、その分のPDF	使った月
4	カードの利用明細か、振込の控え（払ったことの証拠）	カード会社・Paidの締めに合わせる

追加メッセージ料金が10日ごろに出るので、15日に渡すと両方がそろっていて取りこぼしがありません。

2. 締めの記録表

月	1 月額	2 追加メッセージ	3 広告・オプション	4 明細・控え	渡した日
月	☐ 済	☐ 済 ☐ なし	☐ 済 ☐ なし	☐ 済	日
月	☐ 済	☐ 済 ☐ なし	☐ 済 ☐ なし	☐ 済	日
月	☐ 済	☐ 済 ☐ なし	☐ 済 ☐ なし	☐ 済	日
月	☐ 済	☐ 済 ☐ なし	☐ 済 ☐ なし	☐ 済	日
月	☐ 済	☐ 済 ☐ なし	☐ 済 ☐ なし	☐ 済	日
月	☐ 済	☐ 済 ☐ なし	☐ 済 ☐ なし	☐ 済	日

3. 経理担当に渡すときの添え文

今月分のLINE公式アカウントの支払いの記録を送ります。今月の月額料金と、先月の追加メッセージ料金の「お取引の詳細」のPDF、カードの利用明細（振込の控え）です。今月は友だち追加広告（オプション）の分も入っています / 入っていません。科目は_____費をお願いします。

4. 社内で「領収書を出して」と言われたときの説明文

LINE公式アカウントは、LINEヤフーから領収書が発行されません（公式ヘルプに書かれています）。代わりに、払ったことの証拠としてカードの利用明細か振込の控えを、何にいくら払ったかの記録として管理画面の「お支払い履歴」にある「お取引の詳細」のPDFを残しています。どの書類で足りるかは、顧問税理士に確かめています。

作業まで任せたい方へ 支払い方法の登録やインボイス情報の設定、毎月の締めの段取りを一緒に進めたい方は、この公式LINEにそのままメッセージをください。お店の状況をうかがってからお返事します。